

スギに日光届けよう

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」(会長・西頭徳三富山大学長)が18日、同市西金屋で呉羽丘陵竹林整備事

きんたろう
倶楽部

業を行った。晴天の下、約70人が参加。緑があふれ、市民に親しまれる里山を目指し、中国原産のモウソウチクの伐採に取り組んだ。

呉羽丘陵 モウソウチク伐採



呉羽丘陵は高さ十五二十
坪のモウソウチクが生い茂
り、スギやコナラなどほかの
樹木に日光が十分に行き届か
なくなっている。
同倶楽部は定期的に伐採し
ている。

この日は同倶楽部のメンバ
ーと、地元福祉法人め
ひの野園の利用者の保護者
ら約五十人が参加した。婦
森林組合(富山市八尾町梅苑
町)からアドバイスを受け、
約一畝の竹林で作業した。

のこぎりでモウソウチクを
次々に伐採し、機械で細かく
砕いてチップにして周辺にま
いた。汗ばむ暑さの中、エリ
アを分担して作業に取り組ん
だ。

昼食は、現地で取ったタケ
ノコを使ったタケノコ汁を味
わった。竹クラフト教室も行
い、伐採した竹を使ってマイ
カップを作った。

同倶楽部の山田事務局長
は「モウソウチクは広範囲に
生えており、伐採作業がなか
なか追いつかない。今後は
さらに活動の輪を広げ、里
山整備を進めたい」と話し
た。

伐採した竹を機械でチップにす
る参加者